

図書館、文献検索・管理、そして論文作成

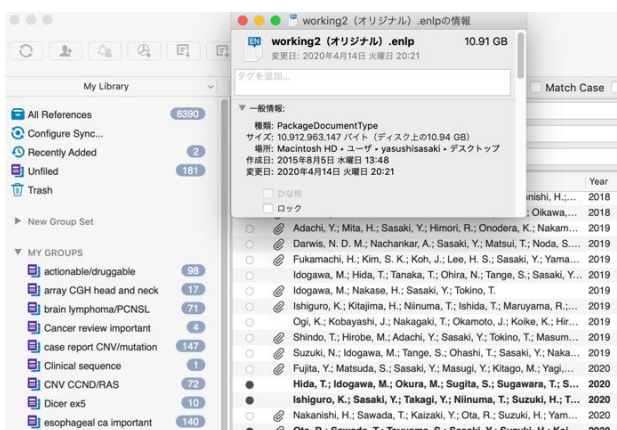
医療人育成センター生物学
教授 佐々木 泰史

私は、1982年（昭和57年）に札幌医科大学に入学しました。当時、附属病院と衛生短大（後の保健医療学部）は建設中でしたが、大学と附属病院の間は現在の遊歩道ではなく普通の市道で、随分と違う雰囲気でした。その後キャンパス、病院の整備が行われ、私の入学時からある建物は今では大学の東棟と国際医学交流センターだけになりました。来年春に教育研究棟Ⅱが完成すると、すべての建物が入れ替わることになり、やや寂しい気持ちです。図書館については、現在の基礎医学研究棟の場所に、一部レンガ作りのかなり古い研究棟の中にあり、講義室から行くときは迷路のようなルートでやっとたどり着いた印象があります。ただ、東棟1階の保健医療学部側に図書館の分館があり、そこで勉強したり、読書したりということもありました。現在の基礎医学研究棟が完成する直前は、2年ほど今の交流会館が図書館でした。現在は情報センターと統合して附属総合情報センターとなった長い歴史と共にしてきたこととなります。

本格的に図書館を利用するようになったのは、研修医になってからでした。特に卒後1年目は、担当する患者の診断、治療に関する文献を図書館で手に入れては勉強し、毎週のカンファレンス、教授回診の準備をする日々を送っていました。2年目の始めに、学会の地方会でB型肝炎ワクチンの大規模治験について発表する機会があり、大いに活用させていただきました。その頃は当然インターネットもなく、文献検索は、Index Medicusや医中誌の分厚い冊子体を検索して、関連性の強い論文を探しだしていました。見つけるのも大変でしたし、文献コピーを依頼することも多くありました。その後、定期的に更新されるCD-ROM版を使用した時代がありましたが、2000年前後からは、インターネットでの情報サービスにとって代わっています。多くのオンラインジャーナルも閲覧可能となり、恩恵をいただいています。最近、私自身は図書館に直接出向くことは少なくなりましたが、今の学生たちは、PC実習室、図書館を勉強する場所として活用しています。現在は制限されていますが、休日を含む24時間開館は好評ですし、目的は変わっても、図書館は学生、教員にとってありがたい存在であることはずっと一緒です。

文献の管理、引用管理はEndNoteの一択だと思います。私はversion 5から使用しています。論文作成には必須ですので、指導する学生たちには、情報センターが主催する講習会でマスターしてもらっています。文献の検索・管理にもとても便利で、今見たところ、私が一括管理しているEndNoteのファイルは、文献数6000以上、サイズが10G以上と巨大になっていました。約20年の勉強の証しでしょうか。

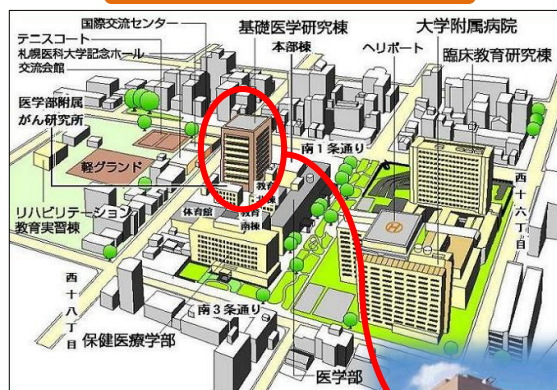
最後に、今年の新型コロナ対応で、大学教育における遠隔学習の必要性、ICTの活用を認識しました。オンライン診療、医療情報の管理を含め、情報センターの教員、職員が活躍する場面が増えると思います。特に教育については、医療人育成センターとして、大いに協力していきたいと考えております。



新入生のみなさんへ（図書館紹介）

新入生のみなさん、この度はご入学おめでとうございます。図書館では、毎年4月に実施される「新入生ガイダンス」で図書館の利用方法についてガイダンスを実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまいましたので、図書館の各フロア及び利用について紹介をいたします。今後の大学生活を充実させるためにも、図書館をご活用いただければ幸いです。

図書館の場所・開館時間



〔基礎医学研究棟（2～4階）〕

〔開館時間〕

- ・通常開館
平日:9:00-20:00
(夏季・冬季:9:00-17:00)
- ・特別開館
平日:20:15-翌日 9:00
(夏季・冬季:17:15-翌日 9:00)
- ・土・日・祝日
平日:9:00-翌日 9:00(24 時間)

入退館・資料の貸出/返却

入退館及び資料の貸出・返却については、下記のQRコードを読み取ってご確認ください。

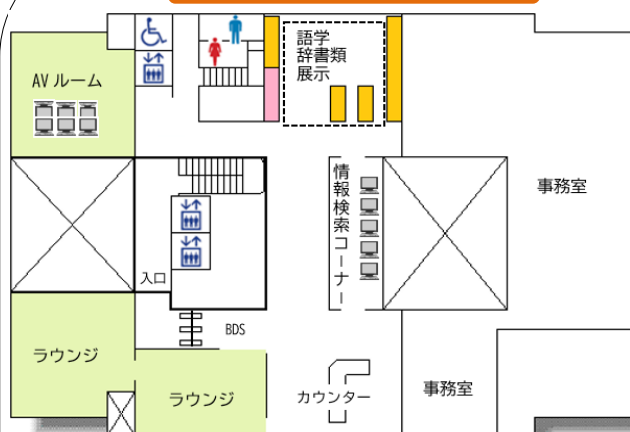
- ・入退館のしかた
- ・資料の貸出・返却のしかた



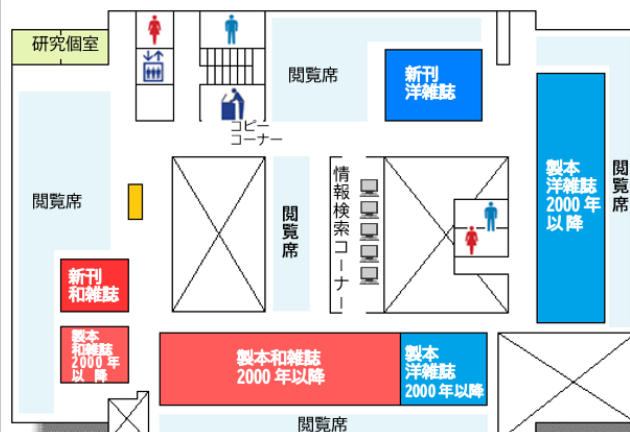
図書館利用時のお願い

- 入館、入室時には、アルコール液での「手指消毒」及び「マスク着用」を徹底してください。
- 机、PC、キーボード、マウス等の使用前後に、専用のペーパータオル・アルコール綿で拭いて下さい。また、拭いた後は、アルコール液で「手指消毒」を徹底してください。
- 使用後のペーパータオル・アルコール綿は、専用ゴミ箱に捨ててください。
- トイレ後、鼻をかんだ後、マスクを外した後など、「手洗い」を徹底してください。
- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご利用をご遠慮ください。
- 各自が十分なスペースを確保して個人学習を行うようにしてください。

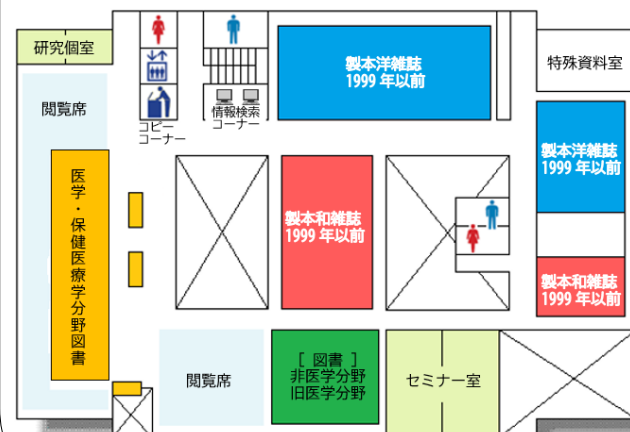
図書館フロア案内図



【図書館 2F フロア】



【図書館 3F フロア】



【図書館 4F フロア】

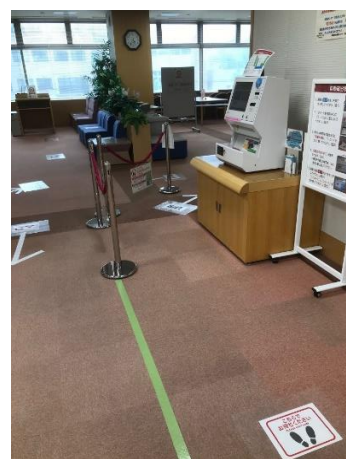
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

当センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学として定められた基準に従って、様々な対策を行ってきました。ここでは、図書館が学外利用者に対して利用制限を開始した3月以降の図書館の取り組みについて、下表及び写真でまとめてみました。

利用者の皆様方には、セミナー室や研究個室を閉鎖する等のご不便をお掛けしていますが、感染症拡大防止を目的に引き続きご協力をお願いいたします。

● これまでの取り組み経過

日 時	対 策
3/4（水）	学外利用者の利用制限を開始
4/24（金）	カウンター対応を休止
	終日特別開館を開始
	ブラウジングルームを閉鎖
6/8（月）	学部学生の図書館利用を開始 （8:00 から 20:00 に制限）
	カウンター対応を再開
	開館時間を元の状態に戻す
	アルコール消毒用品の常備提供を開始
	図書館出入り通路の方向指示サインを設置、 自動貸出機での順番待ちサインを設置
	カウンター飛沫防止対策用シートを設置
7/1（水）	ブラウジングルームを再開
8/25（火）	参考図書コーナー、3階・4階閲覧席及び라운ジのソファの一部を撤去



● 図書館を利用される皆様へのお願い

図書館において、大学が新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に決定したルールを守っていない学部学生が散見されます。他大学においては、学部学生の集団感染（クラスター）が発生している状況ですので、最低限、会話をする際は、マスクを着用するようにお願いいたします。



SAINS メール自動転送サービスを利用する際には確認を！

皆様は SAINS のメール自動転送サービスを利用しているでしょうか？このサービスを利用することで自分の携帯端末で大学からのお知らせ等を確認出来るようになります。

便利な反面、適切に設定を行っていない場合、大きな情報セキュリティインシデントになってしまう場合があります。例えば、本学では 2020 年 5 月に以下の表題でプレスリリースしました。

表題：個人情報が含まれる電子メールの誤送信について

このインシデントは 2019 年 5 月から 2020 年 4 月までの間、間違った転送先メールアドレスを登録していたため、自動的に第三者のメールアドレスに転送されてしまっていた、というものです。

SAINS のメール自動転送サービスには以下の特徴があります。

SAINS メール自動転送サービスの特徴

- 必ず設定されたメールアドレス宛に転送処理を行う。
- 自動転送メール設定は解除されない限り、アカウントを削除するまで保持する。
- メールの内容は改変せずに転送する。

上述の特徴より誤った転送先メールアドレス設定を行った場合、次の 2 通りとなります。
設定したメールアドレスが

- ① 第三者のメールアドレスの場合→第三者にメール転送
- ② 使用されていないメールアドレスの場合→エラーメールとして返送される

SAINS のメール自動転送サービスを利用する際には、確実に転送先メールアドレスへ転送されるか確認し、転送されない場合は再度転送先メールアドレスを確認する等、絶対に放置しないで下さい。

総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: icccj@sapmed.ac.jp

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内 線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24180	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。